

請 願 文 書 表

請願第1号 平和安全法制に反対し、平和行政の充実を求める請願 (平成27年8月31日受理)	総務企画委員会付託
請 願 者 八王子市〇〇〇〇-〇-〇-〇〇〇 〇 〇 〇 〇 外619名	
紹介議員 石 井 宏 和 前 田 佳 子 鈴 木 勇 次 鳴 海 有 理 陣 内 泰 子	
請願趣旨 八王子市議会第2回定例会において、平和安全法制の成立を求める意見書が可決され、撤回や慎重審議を求める意見書は否決されたことを広報で知り、市民として大変残念に思っています。 多くの憲法学者が安保法制は違憲だとしています。「安全保障関連法案に反対する学者の会」も立ち上がり、「安保法案に反対する中東研究者のアピール」というものも出ています。東京都の先生方も、教え子を戦争に送りたくないと訴え「T O L D s」を決起しました。国会前など各地で学生やお年寄りや母親たちも反対の声をあげています。このような中での八王子市議会の決議は、平和安全法制に不安を抱く市民の思いとは、かけ離れたものというほかなく、是非とも撤回していただきたい思いです。 そこで、市として平和行政の充実を今後更に進めることを望みます。 市民レベルで、ささやかながらも真心を込めた交流を重ねることで、外国の方々との間に、人間らしい自然な親しみの気持ちが育ち、私たちひとりひとりが、平和への確かな礎となることを願っています。 請願事項 八王子市の平和行政の充実を求めます。具体的には 1. 市内在住の外国の方に、御家族などから聞いた戦争体験をお話いただく機会を設ける。 2. 互いの国の理解を深めるために、多文化共生事業について、戦争・平和という観点からの充実を図る。 3. 市民の望む平和施策について、市が積極的に聞き取り、市民からのアイデアを実践していく。	